

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表(公民館)

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった	D	未定

3つの基本方針  
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	平成28年度の事業実績		平成28年度の目標達成度		平成29年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
2地域での取組	4	12	(2)公民館での子ども読書活動の推進	常盤公民館	ともだち文庫	読書ボランティアによる本の貸出し、読み聞かせ、お絵かき、工作などを行う。	ともだち文庫のボランティア(世話人)が幼児から小学生までを対象に、読み聞かせと工作・折り紙・科学あそびなどを行った。28年度は42回実施し、延べ417人が参加した。	B	館報の掲載やチラシを近隣の幼稚園や小学校に配布したことにより、参加者も順調に集めることができた。また、活動日以外にも、本を借りに来る子供たちがおり、読書活動の推進を図ることができた。	B	前年度と同様に、ボランティア(世話人会)と協力して、多くの子どもたちが「ともだち文庫」に参加するよう、読み聞かせ・工作・折り紙・科学あそびを行う。	
				南箇公民館	コスモス文庫	読書ボランティアによる本の貸出し、読み聞かせ、お絵かき、工作などを行う。	地域のミニ図書館として幼児や小学生に本を貸し出すだけでなく、文化祭では工作を教えるなどボランティアが熱心に活動してくれた。そのおかげで子どもたちが読書や工作を通じて成長していったように思われる。28年度は39回実施し、延べ854人が参加した。	B	毎回の利用者数は天候などによって左右されたが、ほぼ順調に参加者を集めることができた。	B	ボランティア(世話人会)と協力して、多くの子どもたちが「コスモス文庫」に参加するよう、読み聞かせと併せて、工作・科学遊び・折り紙を行う。また、季節毎に実施している「たなばたま祭り」も「コスモス祭」も内容を工夫しながら継続していく。	
				谷田公民館	のびのび文庫	読書ボランティアによる本の貸出し、読み聞かせ、ことば遊び、工作などを行う。	開催予定回数:40回 開催回数:39回(4月4回、5月3回、6月4回、7月4回、8月2回、9月4回、10月2回、11月4回、12月2回、1月3回、2月3回、3月4回) 延べ参加人数:482人	B	開催予定のうち講師の都合により、2月に1回実施できなかったが、その他は予定どおり実施できた。冬期は若干参加者が少なかったものの、通年で毎回10人以上の参加があった。	B	前年度と同様の内容及び同程度の開催頻度で、引き続き事業を実施する。	
				別所公民館	すぎのこ文庫	ボランティアによる絵本、児童書の貸出し及び簡単な親子工作を実施する。	毎週水曜日に開催。また、月に一度工作教室も開催した。	B	例年どおりの参加者数であったため。	B	例年どおり実施。広報等を工夫して参加者を増やす。	
				東浦和公民館	にこにこ文庫	週1回、放課後時間帯に絵本の貸出しと読み聞かせ、年5回の季節行事に絡めた工作と絵本の紹介を行う。また、月2回程度のペースで0~3歳児と親を対象に、わらべ歌、あそび歌と絵本の紹介を行う。	【絵本の貸出しと読み聞かせ】 日程:第1~第4水曜日 時間:4月~8月 15:00~17:00 【季節行事】日程:①4月27日 ②7月6日 時間:①② 15:00~17:00 延参加者数:63人 【親と子のつどい】日程:毎月:第2、第4月曜日 時間:10:30~11:30 延参加者数:228人 (※平成28年9月~平成29年3月の期間は改修工事に伴い休館した。)	B	毎回の利用者数は天候などによって左右されたが、ほぼ順調に行われた。	B	前年度と同様の内容で開催し、引き続き事業を実施する。	
				大古里公民館	みむろ文庫	公民館グループ「みむろ文庫」による本の貸出しと読み聞かせ、工作などを行う。	幼児と保護者・小学生を対象に全49回に渡って開催した。延べ参加者数は647人だった。	B	毎週一定数の幼稚園児・小学生に利用してもらうことができ、月一回の工作とともに参加者には大変好評で、「読書の推進」だけではなく、「子どもの居場所を提供する」という意味でも大切な役割を果たした。	B	「子どもの居場所づくり」、「読書の重要性」に重きを置き、参加者数を維持するよう努める。	
				尾間木公民館	ひだまり文庫	公民館グループ「ひだまり文庫」による本の貸出しと読み聞かせ、工作などを行う。	小学生、乳幼児の親子を対象に、4月から2月まで15回実施した。延べ参加者数は390人だった。	B	乳幼児の親子の参加が増えているため、読み聞かせの大切さなども内容に取り入れたので参加者には好評で、子育て世代の交流の場としても定着してきたため。	A	実施回数を増やし、読み聞かせの大切さを重点に置いて実施する。	
				本太公民館	ぶんぶん文庫	公民館グループ「ぶんぶん文庫」による小学生を対象にした、本の貸出し、読み聞かせ、工作、季節行事等(月2回程度)を行う。	毎月第2・4木曜日に本の貸出しや工作、ゲームを行った。参加者も多く好評だった。延べ参加者数は1,715人だった。	B	チラシの小学校への配布、公民館だよりの掲載等を行ったため。	B	好評なため、今年度も引き続き実施する。	
				栄和公民館	ハッピー子育てサロン	さいたま市よい本を読む運動推進委員会の協力の協力による乳幼児向けの本の紹介及び読み聞かせを行う。	年間7回開催した「ハイハイひろば」のうち、3回でさいたま市よい本を読む運動推進委員会の会員による絵本の読み聞かせ、紙芝居等を実施し、延べ18人が参加した。	C	改修工事のため、年度前半に3回実施し、延べ18人が参加。前年参加者数を下回った。(昨年度は6回実施、延べ58人が参加)	C	近隣の桜図書館、子育て支援センターでも読み聞かせ等を実施しており、参加者が減少傾向にあるため、講座の内容、回数、周知方法を検討する。	
				岸町公民館	親子おはなし会「おはなし玉手箱」	小学生・幼児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせ、紙芝居、おりがみ工作等を行う。	さいたま市よい本を読む運動推進委員会のメンバーが月1回絵本の読み聞かせ、紙芝居、おりがみ工作等を行った。平成28年度は年11回実施し、延べ126人参加した。	B	チラシを幼稚園、保育園、小学校の低学年を対象に配布し、「岸町公民館だよりに」も掲載したことにより、参加者も順調に集まり、事業が実施でき、読書活動の推進を図ることができた。	B	今年度も引き続き実施する。さらに参加人数の増加を図るため、今後も広く周知する予定。読書に親しみ、おはなしや工作を通じて、地域の方がふれあいを有する貴重な機会なので気軽に参加できる工夫をしていく。	
浦和南公民館	南Happy子育てライフ前期・春「読み聞かせ・手遊び・折り紙」	絵本の読み聞かせ・紙芝居・ペープサート等を行う。	1~4歳児とその保護者を対象にしたおはなし会を実施した。	A	定員いっぱい12組の参加があったため。	B	さいたま市よい本を読む運動推進委員会の読み聞かせが好評なので平成29年度も実施する。					
	夏休み子どもわくわくランド「ほんらんど」	絵本の読み聞かせ・紙芝居・工作等を行う。	青少年育成浦和高砂地区会と共催し、地域の子ども会役員などが絵本の読み聞かせ、紙芝居などを行った。	C	天候悪化により、参加者が昨年度より少ない28人とどまったため。	B	読書に親しむだけでなく、地域の大人と子供の交流を図る機会でもあるので、平成29年度も実施する。					

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表(公民館)

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった	D	未定

3つの基本方針  
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

部分については、記入不要です。

変更しないでください

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	平成28年度の事業実績		平成28年度の目標達成度		平成29年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
				六辻公民館	おはなしのへや	絵本の読み聞かせてあそび・簡単な工作などを行う。	乳幼児向けの読み聞かせ講座の実施	B	実施回数を4回から8回に増回した結果、回を追うごとに人数が増加し効果が認められたため。	B	28年度同様の回数を実施し、地域交流の場として、さらに維持できるよう引き続き実施する。	
				針ヶ谷公民館	子育て応援講座 お話のひろば	大型絵本の読み聞かせに合わせて生演奏を楽しむ、子育てお話を深める。	未就園児の親子を対象に実施し、述べ63人が参加した。	B	読み聞かせだけでなく、クリスマスツリーづくりなども行い非常に好評であった。	B	読書に親しむだけでなく、地域の大人と子供の交流を図る機会でもあるので、平成29年度も実施する。	
				日進公民館	絵本の読み聞かせ	本との出会いにより感情や情緒を育むため、乳幼児とその親を対象に、図書館司書を招いて絵本の読み聞かせを行う。	【前期】日時:6月16日(木)、7月14日(木) 各10時~11時 延参加者数:61人 【後期】日時:12月8日(木)、2月9日(木) 各10時~11時 延参加者数:39人 図書館司書による読み聞かせ	B	親子で手遊びを行ったり、絵本に触れ合う機会を提供することができた。	B	多くの参加者が見込め、図書館司書による読みかきせや手遊びなどが楽しめる講座であるので、引き続き実施する。	
					子ども公民館	本との出会いにより感情や情緒を育むため、乳幼児とその親を対象に、絵本講師を招いて絵本の読み聞かせを行う。	日時:11月17日(木)、1月12日(木) 各10時~11時 延参加者数:81人 内容:外国人の絵本講師による絵本のみみかきせなど	B	親子で絵本や外国の文化に触れ合える機会を提供することができた。	C	多様な視点で絵本に親しむという講座本来のねらいと、講師が外国人であることで英語に触れたい、という参加者の期待との間にギャップを感じたので、事業の継続は見送った。	
				大宮南公民館	ぶれひよこ学級 I	図書館職員による読み聞かせ・手遊び・紙芝居などを行う。	本の読み聞かせと手遊びの実施	B	定員15組のところ、10組の参加があり好評であった。	B	他の講座と組み合わせて、引き続き昨年と同数の参加を目指して事業を継続する。ぶれひよこ学級 I で2回実施していたものを分け、他の講座と組み合わせたものはぶれひよこ学級 II で実施する。	
				土合公民館	遊びと絵本のつどい	絵本の読み聞かせなどから、本に親しみ、簡単な工作を通して交流する。	5.7.12.3月の土曜日、乳幼児とその保護者、小学生を対象に開催。参加延べ人数は73人。また文化祭にも参加。	C	土曜日の開催で夫婦参加も何組か毎回あるが、全体的に参加者は少ない傾向にある。幼児向けであるので、小学生の参加はあっても満足度につながらない。	B	周知方法を検討する。	
					なかよし文庫サロン	なかよし文庫と連動して絵本の読み聞かせ・わらべ歌・人形劇・ミニコンサートなどを行い、講座後は地域の交流の場とする。	4.6.7.9.11.12.1.2.3月の9回、乳幼児とその保護者を対象に実施。参加延べ人数は203人。	C	講師によって、参加者の増減があり、コンスタントに参加数がないのが残念である。平均20組参加予定のところ、10組ほどとなった。	B	文庫と連動してクリスマスの行事に合わせ、人形劇、ミニコンサートを行うなど、行事を利用した内容とする。	
					なかよし文庫	地域のボランティアが週1回、絵本・児童図書等の貸出しを行い、読書推進を行う。	ほぼ毎週木曜日(祝日・年末年始を除く)46回の貸出しを行い、1,263人の利用者があり、その他事務室貸出しの利用者が111人あり、合わせて1,374人、2,318冊の利用があった。秋以降右肩がりの利用数となっている。	A	利用者の増加を狙い、チラシを作成し地域の学校・幼稚園などに配布したところ、大幅な利用者の増加につながった。	A	昨年末から続いている、利用者の増加を今後も目指す。利用者が減少した場合、チラシを配布する。	
				大宮東公民館	おはなしひろば	地域のボランティアが月に1回、乳幼児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせやすばなしを実施。	絵本の読み聞かせ・すばなしの実施	C	参加者数は少数であったが、館報等によりPRは行ったため。	B	子育て支援を目的として事業を今年度も継続していく。	
<p>※上記以外に、子ども読書に関する事業の実施がある場合は、下の行に追記してください。</p>												
				田島公民館	おひさま文庫	子供の読書の機会を増やすため、絵本や児童書の貸出しを実施する。また、季節の行事や簡単な工作なども実施する。					A	年間の合計利用人数480人を目標として活動を行う。